

ネパールを知り、考える

氏名： 徳増 多恵

学校名： 大阪府立和泉総合高等学校

担当教科： 英語

実践教科： コミュニケーション英語 I ②

時間数： 2 時間

対象学年： 2 年

人数： 120 人(30 人×4 クラス)

1. 教師海外研修を通して感じたこと

現在までの教員生活を通して、生徒たちとともに、国際理解教育とは何か、持続可能な未来のために自分たちができることは何なのかなどと考える機会が多く、私も勉強をする日々であった。しかし、私自身は実際に現地に赴いた経験がなく、自分の目で見て体験したいという思いを長らく抱いていた。自分で見て感じたことを私の言葉で生徒たちに伝え、世界を意識して、世界で生きる力を身につけさせられるような、そんなきっかけをいただけることを期待して参加を希望したのだが、期待していた以上のものを経験させていただいた。

まず、JICA の「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教える支援」を直に拝見した。その土地の文化を尊重しつつ、より良い方法を提案し、一緒に取り組んでいくという JICA の支援方法を通して、現地の方が、自信を持ち、自分の農場や施設、取り組みを紹介して下さる姿から、持続可能な支援の形を感じる事ができた。決して押しつけるのではなく、対等な立場で、世界の市民の一人として、お互いに関わっていくことこそがより良い未来を創るのであり、そういう視点を生徒たちが持つことができるよう、日々の教育活動を通して伝えていくことが私の使命であると改めて強く自覚した。

そして、各訪問場所で出会った方々から多くのことを学ぶことができたが、それ以上に一緒に参加した先生方から学ぶことが多かった。日々の振り返りの中で、議論をし、様々な視点を共有できたことこそが、自分自身を振り返る機会となり、本当に貴重な経験であった。

2. 授業実践

【1】テーマ・目標

- ・ネパールを通して、他の文化に触れ、理解し、自分の視野を広げようとする姿勢を持つこと
- ・「幸せ」とは、「豊かさ」とは何かについて考え、自己肯定感を育むこと

【2】単元設定の理由

本校の生徒は、勉強に対する苦手意識が強い生徒が少なからずいる。また、自分の意見を表明することに慣れておらず、受動的に答えを待つ生徒が多い。

前期でマララ・ユスフザイについてのレッスンを通して、世界で起こっているテロの恐怖を知った。しかし、それは生徒たちにとっては遠く離れた外国で起こっていることで、自分とは全く関係のない世界の出来事ではなかった。私が見たネパールの現状を私の言葉や撮った写真で生徒に伝えることで、自分事として世界について考える時間としたい。

今まで見たことも聞いたこともない世界に触れることで、自分自身の世界が広がること、また、広い視野を持って世界を見ることが彼らの自信に繋がっていくと考える。

| 【3】展開計画（全2時間） | | | |
|---------------|---|--|--------------------------|
| 時 | テーマ・ねらい | 活動・内容 | 使用教材 |
| 1 | ネパールを知る * ネパールでの経験の報告 * ネパールに関する基礎知識を学び、興味を持つ | <ul style="list-style-type: none"> ・スライドを見ながら、ネパールの基礎情報についての説明を聞き、ワークシートに記入する。 ・教員の失敗談や初めての経験を披露し、日本との違いや驚いたことを知る。 | パワーポイント ワークシート チウラ |
| 2 | ネパールについて考える * 「幸せ」「豊かさ」について考える | <ul style="list-style-type: none"> ・日本の学生もネパールの学生も貧富の差はあるにせよ、似たようなことに幸せを感じ「豊かな」生活をしていることを知る。 ・日本とネパールの共通点に気付く。 ・教育が行き届かない現状を知る。 ・英語が重要視されている現状を知る。 | パワーポイント ワークシート |

【授業実践の様子】

1時間目：ネパールを知る

内容①ネパールの基礎知識

②ネパールでの経験の共有～日本との違い

①ネパールについての基礎知識

首都カトマンズの写真

ここで何が起きたのだろうか…
震災の後、戦争の後、放置されたゴミ

日本と同じ地震国家であるネパール
復興が進まない理由は何なのか？



街中にあるカラフルな服を着た女性の手には
スマートフォン
通信機器の波及状態を知る

②ネパールでの経験の共有～日本との違い
初めて経験したことをクイズ形式で紹介

水は大切な資源

村人たちが共同で使っている水道を紹介し、限りある資源を大切に使っている様子に触れる

Nepal Quiz

②屋外の水道で(頭)を洗ったこと



Nepal Quiz

④(右手)で食事を食べる



文化の違いを知る

その違いには宗教が大きく影響すること
も知る

<生徒の感想より>

- ・いろいろなところで日本と違って刺激をもらった。
- ・他の国の文化に興味持った！！
- ・右手でご飯を食べてみたい。
- ・識字率が低いことにびっくりした。ネパールの人に文字を教えたい。
- ・初めて知ったことが多くてびっくりした。

2時間目：ネパールについて考える

*「幸せ」とは？「豊かさ」とは？



導入：物の見え方について

必ずしもみんなが同じ見え方をするわけではない。

そして、違う見え方が間違いというわけでもない。

違いを知り、違いを受け入れることが大

2人の写真を見て

- ・母語であるネパール語を書くことはできないが英語を書くことができる5歳の少女
- ・村で育ち、2人の息子の母である37歳の女性は学校での教育を受けていない



ネパールの生徒たちの“Are you happy?”
に対する答え

”YES!!!!”

＜ネパールの学生の夢＞

- ・政治家になって国を変えたい
(男子生徒)
- ・医者になりたい(女子生徒)

＜ネパールの学生が幸せな時＞

- ・ゲームをしている時(男子生徒)
- ・宿題をしている時(男子生徒)
- ・家族が幸せな時(女子生徒)
- ・家族の夢が叶った時(女子生徒)

When do you feel happy?
あなたはどんな時に幸せだと感じますか？



<生徒感想より>

- ・みんなが家族一人一人のことを大切にしている素敵やなと思った。
- ・水一つでも大切に普段自分たちがしている当たり前のことがすごくぜいたくなことなんやなって改めて思った。
- ・貧しくても幸せそうに暮らしていて、すごく気持ちがよくて、人々の事を考え、支えあって生きていく姿にすごく勇気づけられた。自分もこの人たちのようになれるように頑張ろうと思えた。
- ・ネパールって国なんて授業で聞くまで分からなかったし、イメージを悪い方に考えていたけど、とても楽しそうやなって思ったし、良い所がいっぱいあった。自分も小さな世界で縮こまっているだけじゃなくて、もっともっといろんなこと知りたいし、いろんなことを多くの人と共有してみたいと思った。すごく勉強になったし、考えさせられた。
- ・どの国もそれぞれ違う生活をしていると思った。貧しい生活なのに、みんな明るくて笑顔が素敵だと思った。

3. 成果と課題

①成果

研修前に生徒にネパールについて質問をした際、「俺には関係ない」「知らん」とそっけない声が多く聞こえていたが、たった2回の授業ではあったが、生徒たちに今まで知らなかった視点を提示することができ、「知らなかったことを知れて楽しかった」というコメントや、なかなか授業に向いていなかった生徒が、興味を持ってこちらを向いて発言する様子を見ることができた。また、生徒のコメントの中には、よく考えている様子を見ることができるものもあり、彼らにとっても貴重な機会だったと思ってもらえたことを再認識できた。違いがあることを知り、その違いを知ることが面白い、楽しいと気付かせることができたことは成果であると言えると思う。今後もこのような機会を設けることで、更なる気付きを経験させてやりたいと強く思う。

普段の授業の中では生徒の個人の意見を聞いたり、書かせたりという時間を持つことができななかったが、教科書を離れて、ワークシートの穴埋めだけではない授業ができたことで、生徒の考えを知ることができてよかった。その中にも前向きな意見が多くあったことが成果だと言える。

②課題

・教員経験16年目の今年4月に本校に赴任し、それ以来、どのようにすれば生徒を授業に引き付け、興味を持って学ばせることができるのか、悩みが多かった。そんな中で授業改善を行いたいと思ったこともこの研修に参加しようと思ったきっかけであった。今回の研修を機に、グループワークを取り入れ、教え合い、学び合いの機会を設けてみたが、普段から、そのような活動を通して、お互いに成長し合う姿勢を育む必要がある。生徒には何事にも挑戦するように日々言っているが、私自身がそれをできていなかったことを再認識できた。

・2回目の授業で提示した写真の女の子と女性については、英語を教える教員として、また同年代の女性として、生徒に考えさせたいし、ぜひとも知ってほしいと思ったのだが、参観に来てくださった方より「女性については、“かわいそう”な存在として軽蔑することになるかもしれない。提示の仕方には工夫が必要」とのご指摘をいただいた。女性の尊厳を守りつつ提示するには、歴史的な背景や、その土地の慣習などを理解する必要があると思った。生徒にとっては難しい題材だった。



・他クラスとの兼ね合いもあり、割ける時間は各クラス2時間しかない中での実施であった。その中で、生徒にしっかり考えさせるには時間が足りず、自分自身も豊かであり、自分が、回りにいる人を豊かにできる存在であるということ気付かせ自己肯定感を育むところまでを当初の目標としたが、たどり着くことができなかった。

1 時限目使用ワークシート

ネパールを知る

<Information about Nepal>

| | 日本 | ネパール |
|-----|----------------------|--|
| 人口 | (ア) 人 | 約2,900万人 |
| 面積 | 約38万 km ² | 日本より (イ 大きい / 小さい) 約(ウ)万 km ² |
| 天候 | 四季がある | (エ) と(オ) がある。 |
| 宗教 | 仏教、キリスト教など | (カ) がほぼ半数 |
| 識字率 | 99% | (キ 35% / 50% / 68%) |

<Introduction: 3枚の写真>

① 場所: カトマンズ-ネパールの(ク) (ケ)年に大きな(コ)が発生。

② 村の写真: (ク)村。カトマンズから車で4時間くらい、日本のNPO がこの自然を守るための活動をしている。

③ 街中の写真: 民族衣装(シ)を着ている女性。手には(ス)を持っている。

<My first experience: 初めての体験>

① 学生に「わかった?」と聞いたら、YESのジェスチャーが(セ)。

② 屋外の水道で(ソ)を洗ったこと

③ 山道で(タ)に喧嘩されたこと

④ (チ)でご飯を食べたこと

④ “クマリ”の存在 (ツ)歳で親元を離れ、(テ)として生きる少女

今日の授業の感想を書いてください。驚いたこと、初めて知ったこと、もっと聞いてみたいこと...

Class() No.() Name()

2 時限目使用ワークシート

ネパールについて考える

<Two photos> 写真の人物について、想像してみよう。

| | ① | ② |
|------|---|---|
| 性別 | (ア) 歳 | (イ) 歳 |
| 家族構成 | 父・母・私 | 祖母・父・私 息子2人は(ウ)歳・(エ)歳 |
| 日常生活 | - 村にいるいとこや友達と毎日遊んで過ごしている。 - (イ)を書くことができる。 - (ウ)の文字を勉強中。 | - (キ)歳で結婚。 - 朝早くから仕事を毎日。 - (ク)を受けておらず、(ケ)は書けない。 |

<写真の人物について気付いたこと>

Q. When do you feel happy? 訳「 」

| Your Answer | Students in Nepal |
|-------------|-------------------|
| - _____ | - (ア) の夢が叶った時 |
| - _____ | - (イ) が幸せだと感じた時 |
| - _____ | - (ウ) をしている時 |
| - _____ | - (エ) をしている時 |

<ネパールと日本の共通点>

<共に _____ 生きるということとは?>

今日の授業の感想を書いてください。驚いたこと、初めて知ったこと、もっと聞いてみたいことなど...

Class() No.() Name()

<生徒の感想より>

<共に豊かに _____ 生きるということとは?>
互いの文化を尊重し合って支え合うこと。

Q. 「^{ゆた}豊かさ _____」とは何でしょう?

- トロが"互"に支え合っているからゆたかで幸せにいられた"と思う。

- 外見の豊かさではなくてネパールの人達を支持者が豊かになった"と思う。

- 手がして楽しく生きて笑顔でいられたら"豊かさ"と思う。

今日の授業の感想を書いてください。驚いたこと、初めて知ったこと、もっと聞いてみたいことなど...

おもしろく幸せそうにいられていて"豊かさ"が"よくて"人口の事を考え、支えあっていって"豊かさ"が"よくて"豊かになれる。

自分も人達のようになれるから"豊かさ"と思った。